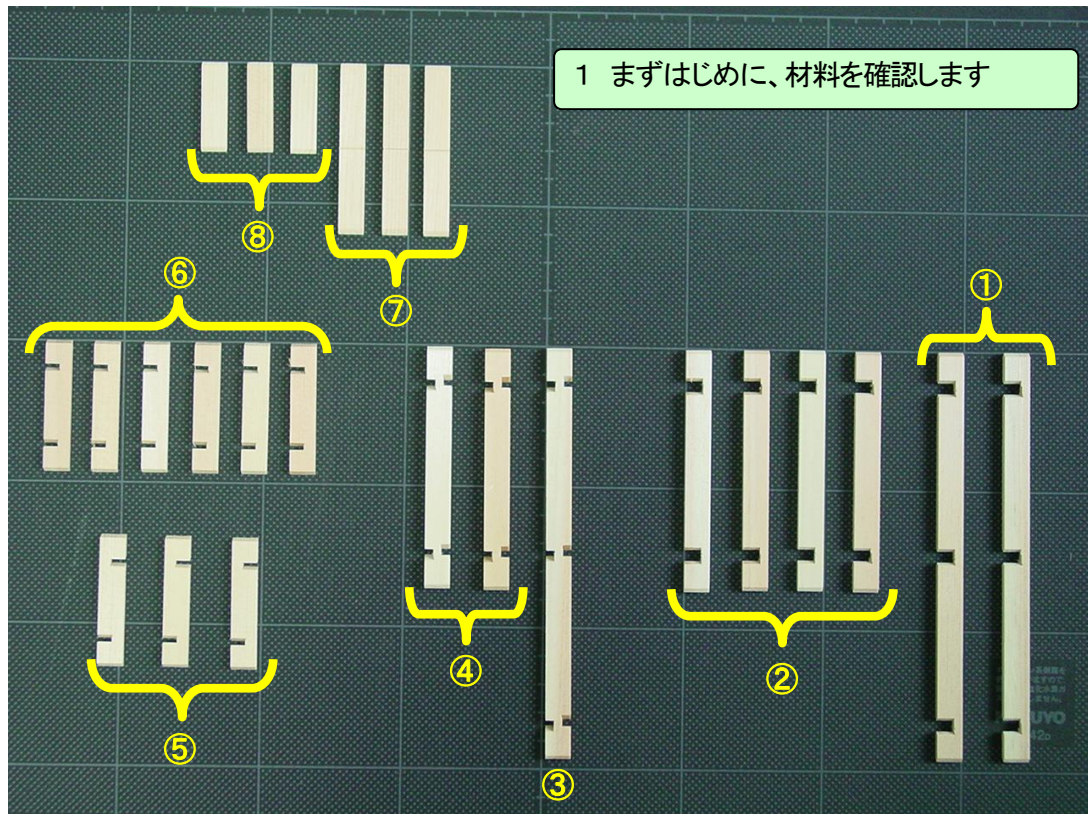


# かぬま組子づくり体験

木工・建具の町として、その伝統を継承してきた鹿沼。その建具を彩る「組子」の技術。建具職人の繊細な技術を体感しながら「かぬま組子」を組み立ててください。指先のやわらかな力だけで、誰でも組み立てができます。



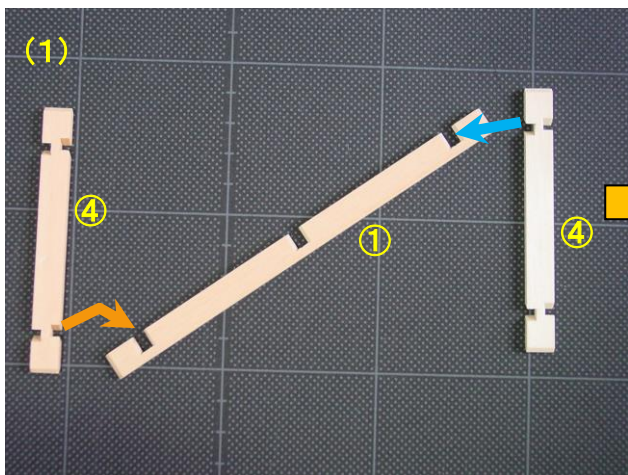
材料確認表

番号	材料の特徴	数
①	片側に3つの大きめの溝があり、部品の長さは長い。	2本
②	片側に2つの大きめの溝があり、部品の長さは中ぐらい。	4本
③	両側に3つの小さめの溝があり、部品の長さは長い。	1本
④	両側に2つの小さめの溝があり、部品の長さは中ぐらい。	2本
⑤	両側に1つずつ小さめの溝があり、部品の長さは短い。	3本
⑥	片側に2つの小さめの溝があり、部品の長さは短い。	6本
⑦	中心に切り込みが入っており、部品の長さは中ぐらい。 <b>注意: やさしく扱ってください。切り離さないように気をつけてください。</b>	3本
⑧	⑦の半分の長さ。	3本
計		24本

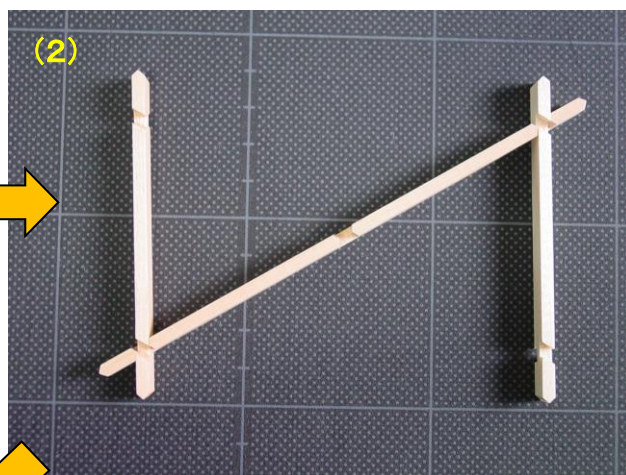


## 2 作ってみましょう

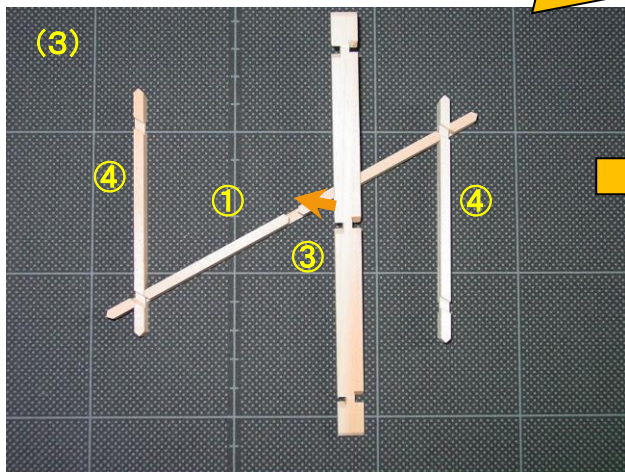
### (1)六角形の骨組を作ります



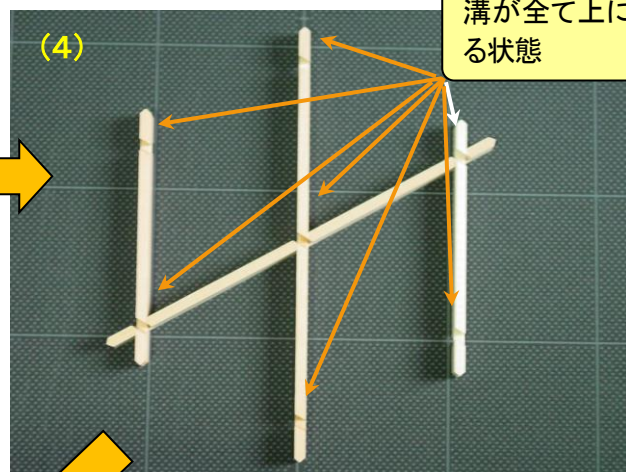
①に④の溝を合わせ、はめ込みます。



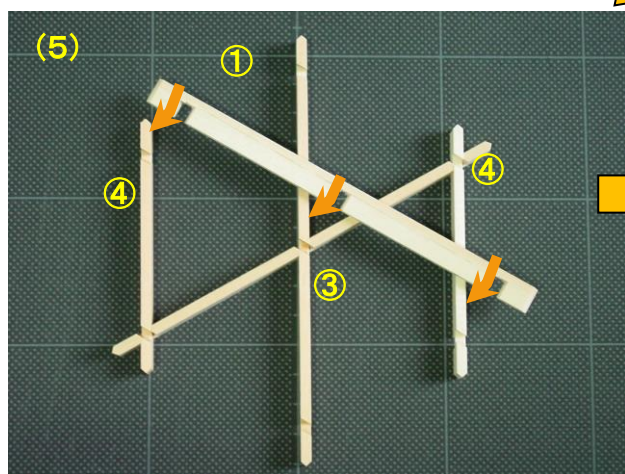
このようになります。



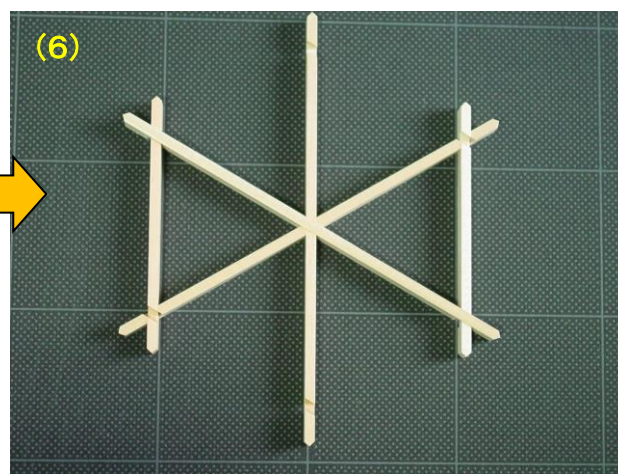
③の片側の中心溝を①の溝に合わせ、はめ込みます。



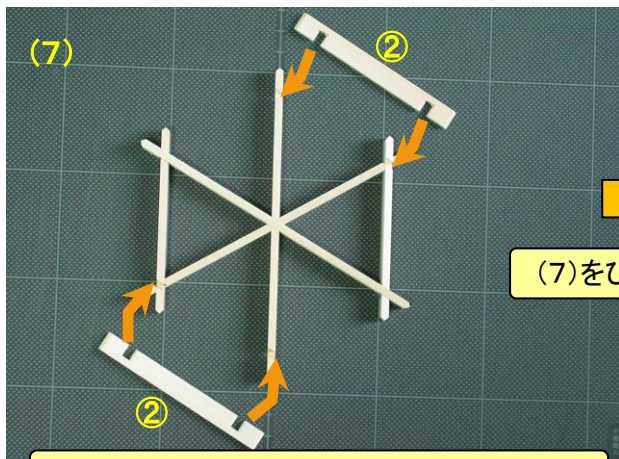
溝が全て上にある状態



③④の溝に、もう1本の①を合わせ、はめ込みます。





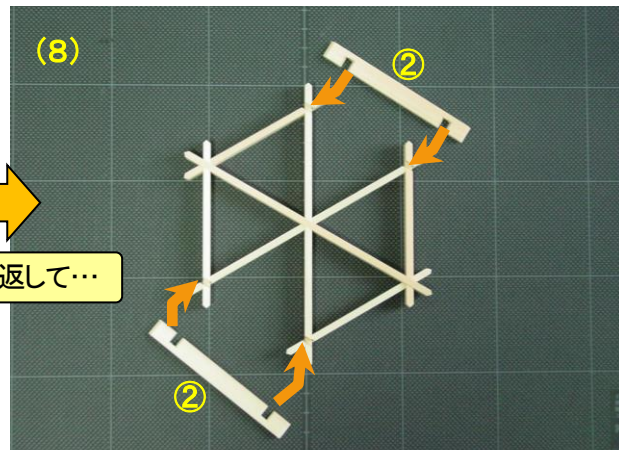


(7)

②

②

②の溝を、本体の溝に合わせはめ込みます。



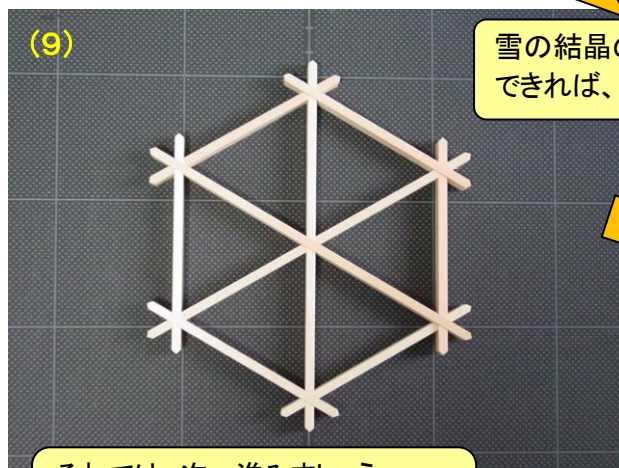
(8)

②

②

②の溝を、本体の溝に合わせはめ込みます。

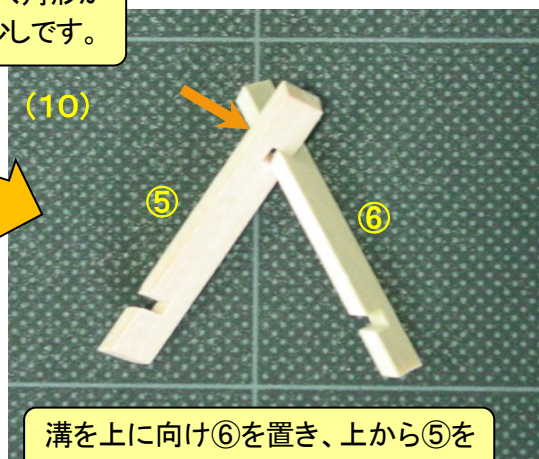
(7)をひっくり返して…



(9)

雪の結晶のような六角形が  
できれば、あともう少しです。

それでは、次へ進みましょう。  
六角形の中にできあがった6つの  
三角形に入れる部分を作ります。

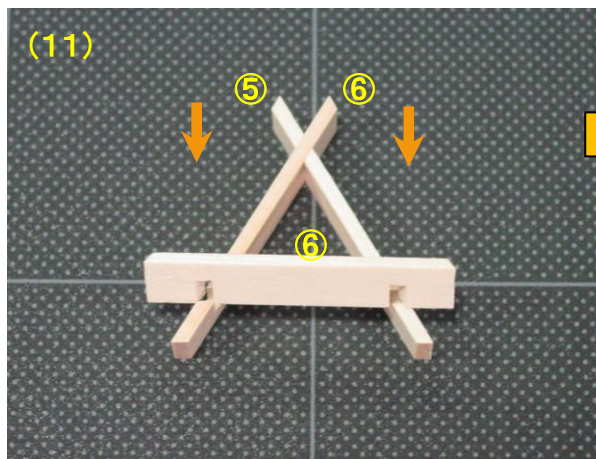


(10)

⑤

⑥

溝を上に向け⑥を置き、上から⑤を  
はめ込みます。



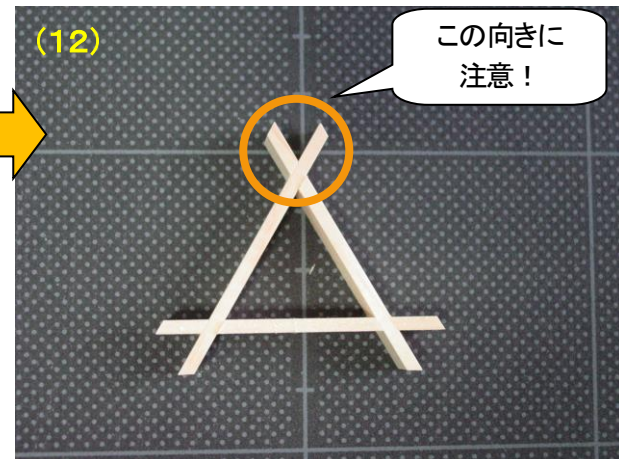
(11)

⑤

⑥

⑥

(10)の溝を上に向け、上から⑥をはめ込みます。

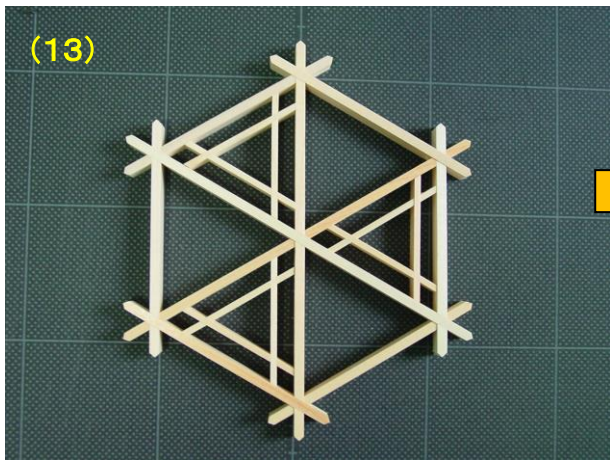


(12)

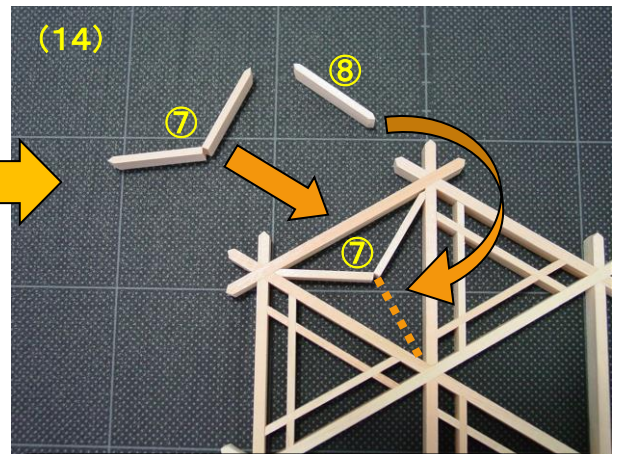
この向きに  
注意!

これを3組作ります。

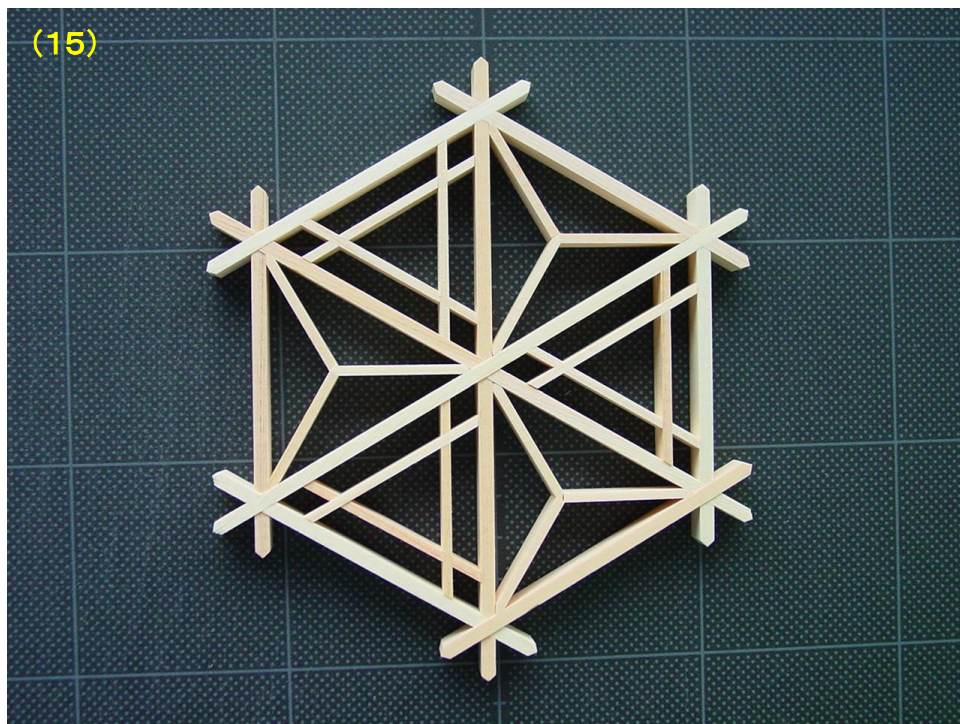
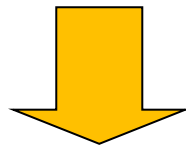




3組をこのように三角形にはめ込みます。



いよいよ最後の段階になります。  
⑦を本体の三角形にはめ込み、⑧をやさくはめ込みます。  
このとき、⑦は切り込みが入っているので、離れないようにやさく合わせて入れてください。



はい  
かぬま建具を彩る「かぬま組子」の完成です。